

蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画（案）に対する  
パブリック・コメント概要

1. 案 件

蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画（案）

2. 募集期間

平成31年1月30日（水）～2月19日（火）

3. 意見の件数（意見提出者数）

6件（4人）

4. 意見等の概要

No.	該当ページ 及び項目	意見の概要	市の考え方
1	P1, P2 庁舎耐震化 整備の検討 経緯	<p>第二中学校卒業の高校生だが、第二中学校校舎は古く、冬は寒く、夏は暑く、とてもつらかった。</p> <p>大人の快適よりも、成長期の子供たちの快適を優先し、蕨市役所より第二中学校の新築を優先してほしい。</p>	<p>公共施設の耐震化は、子供たちの利用する小・中学校や保育園などを優先的に進めてきており、昭和53年・55年に建築の第二中学校校舎についても、平成23年度に耐震化工事を終え、24年度に空調設備を設置し、引き続き、必要な長寿命化対策の検討を進めているところです。</p> <p>一方で、昭和39年に建設された現庁舎は、耐震基準を満たしていないため、大地震の際は庁舎機能が失われ、災害復旧活動等に大きな支障が予想されます。また、老朽化や狭隘化が進み、バリアフリー化など多くの課題があります。</p> <p>市庁舎は市民サービスや災害対応の拠点であり、耐震化整備として庁舎を建替えることは、必要な取組みであると考えています。</p>

No.	該当ページ及び項目	意見の概要	市の考え方
2	P16 基本方針1: 防災拠点となる安全な庁舎 ③業務継続機能	災害時における災害対策本部機能の維持と一時避難者への配慮を目的として、電力が節約できるガスヒートポンプエアコンの採用を検討願う。 あわせて、災害時に破損しない強靱性を備えた中圧ガス導管の庁舎への引込みも検討願う。	災害時に防災拠点として十分な役割を果たすための設備機器や、省エネルギーにも配慮した最適なエネルギー源の導入については、御意見を含めて、基本設計で検討を進めます。
3	P20 基本方針3: 環境にやさしい庁舎 ⑮各種省エネルギー手法の導入	国が「工場等における電気の需要の平準化に資する措置に関する事業者の指針」で定める省電力機器の導入を促進するため、消費電力を抑えられるガスヒートポンプエアコンの採用を検討願う。	省エネルギー機器の採用によりエネルギーの適正利用を図るなど、環境負荷の低減にも配慮した庁舎となるよう、御意見を含めて、基本設計で検討を進めます。
4	P23, P24 基本方針5: 市民が親しみやすい庁舎 ⑳蕨らしさの創出 ㉑市民交流機能	憩いの場や市民交流スペースに、河鍋暁斎をはじめ、優秀な市内芸術家の作品(絵画、彫刻、書など)を展示できるスペースを整備してほしい。 整備の際は、展示替えができる保管場所も必要と考える。 文化の香り高い蕨になると思うので、蕨市文化協会も交えて検討してほしい。	「蕨らしさの創出」として、市内に美術館がある狩野派の絵師・河鍋暁斎など、蕨の地域資源の活用を検討する方針としています。 また、「市民交流機能」として、エントランス付近に市民が利用できるスペースを設け、市民活動、市民交流などができるスペースを提供する方針です。 御意見の美術品の展示スペースや保管場所は、温度管理や調湿機能等が求められることから、必要な機能については、基本設計において、床面積約6,500㎡を基本に全庁的な体制で検討を進めるとともに、機会をとらえて市民の皆さんから御意見を伺ってまいります。

No.	該当ページ及び項目	意見の概要	市の考え方
5	P23, P24 基本方針 5： 市民が親しみやすい庁舎 ⑳ 蕨らしさの創出 ㉑ 市民交流機能	<p>「蕨らしさ」という表現は、蕨市の文化が過去のものとして解釈されてしまう。</p> <p>蕨市の現在進行形の文化が集まる中心となる場所として、各展示会の入選受賞作品の紹介、プロ活動をしている市内在住アーティストの紹介などが行えるギャラリーを設け、旧中山道の活気だけでなく、現在・未来の文化活動を大切にして、県内外に蕨市の文化を発信してほしい。</p>	<p>新庁舎の基本的な考え方（基本理念）として、「歴史・文化を活かし『未来の蕨』を創造」を示しており、先人が築いてきた歴史・文化を活かしつつ、蕨市が更に飛躍する未来を創造していく拠点となる新庁舎を目指しております。</p> <p>「市民交流機能」としては、エントランス付近に市民が利用できるスペースを設け、市民活動、市民交流などができるスペースを提供する方針としています。</p> <p>なお、具体的な各機能やその面積などについては、御意見を含めて、床面積約 6,500 m<sup>2</sup>を基本に基本設計で検討を進めます。</p>
6	P24 基本方針 5： 市民が親しみやすい庁舎 ㉑ 市民交流機能 ㉒ 市民利便機能	<p>Wi-Fi 環境を備え、市民の憩いの場や、今話題の子供食堂にもなる誰もが利用できる食堂を提案する。</p> <p>受験生がコーヒーを飲みながら勉強できる場もあるとよい。</p>	<p>「市民交流機能」として、エントランス付近には市民が利用できるスペースを設け、来庁者がくつろげるとともに、市民活動、市民交流、市政情報の発信などができるスペースを提供する方針としています。</p> <p>また、障害者就労施設によるパンやお弁当の販売なども行える多目的スペースとしての活用も含め、具体的な機能については基本設計で検討を進めます。</p> <p>なお、蕨駅西口地区市街地再開発事業では、図書館を整備する方針を昨年決定しており、学習スペース機能の充実を検討しています。</p>